

インテックス大阪の光回線サービス

用語集

よく使われるネットワーク用語をわかりやすく解説します。



カテゴリ一覧



インターネット回線
ネットワーク設定



配線・ケーブル



ネットワーク機器



インターネット回線・ネットワーク設定

01 プロバイダ

インターネットに接続するためのサービスを提供する事業者。

(例) BIGLOBE、Vectant等

【役割】回線事業者(NTT等)の回線を通じて、端末をネットワークへと接続する。

02 グローバルIPアドレス

インターネットを通じて外部と通信をする際に必要な宛先となるもの。

(例) YouTube視聴

「203.xxx.xxx.xxx宛に動画を返さないといけない」



03 固定グローバルIPアドレス

可変グローバルIPアドレスとは異なり、使用期間中変わらないグローバルIPアドレスのこと。常に同じグローバルIPアドレスのため、サーバーの運用や外部からのリモートアクセスを用いる際などに必要となる場合がある。

04 DHCP

接続している各端末に自動でIPアドレスを割り振る仕組み。



05 DNS

ドメイン名をIPアドレスに変換する仕組み。

(例) Googleを開きたい

DNSサーバーでURLを「ネット上の住所=IPアドレス」に変換

google.com ▶ 142.xxx.xxx.xxx

06 ベストエフォート

可能な限りの回線速度・品質を提供する方式。

(ケーブルの状況や回線の混雑、プロバイダの輻輳、Wi-Fiの電波干渉等の理由により最大値での提供が出来ない場合がある) 例えば、通信速度「最大100Mbps」と案内していても100%の保証はできない。

07 PING値

通信のレスポンス速度を表す数値。「ボタンを押してからその反応が返ってくるまでの時間」→数値が低いほど優秀!

【目安】単位:ms(ミリ秒/1000分の1秒)

10ms以下:◎オンラインゲームも快適にできる。

30~50ms:○動画視聴やネットサーフィンには十分な速度。

100ms以上:△反応がワテンボ遅れるのを感じるレベル。

※使用感の快適性は、PING値だけでなく回線速度や使用機材のスペックにもよるため、上記は目安。



配線・ケーブル

08 Cat5eケーブル

多くの家庭やオフィスで使われているLANケーブル。Cat5を改良して、より速い通信が可能になったモデル。Cat5eは最大通信速度1Gbpsに対応している規格。【利点】ケーブル内部にシールドが入っていないため柔らかく、容易に配線取り回しが可能。ケーブル内部で2本の銅線をペアにしてぐるぐると合わせる。※ツイストペア構造になっていて、外部からのノイズを軽減する。

09 Cat6aケーブル

Cat5eよりもノイズ耐性が強化され、高速通信向けのケーブル。

最大通信速度10Gbpsに対応している規格。

10 PoE

(Power over Ethernet)

LANケーブル1本で「通信」と「電力供給」を同時に行う技術。通常なら電源ケーブルとLANケーブルの計2本必要なところをLANケーブル1本で対応可能。

11 ハブ

複数のパソコンやプリンターなどの機器をLANケーブルで繋ぎ、ネットワークに接続するための装置。



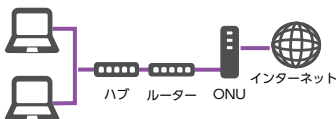
ネットワーク機器

12 ONU

PC等端末やルーターの上位に設置し、端末が通信を行うために光信号からデジタル信号に変換する装置。日本語では「光回線終端装置」と呼ばれる。

13 ルーター

ネットワーク上のIPアドレスを各端末に割り当てたり、通信を制御したりする。



14 AP (アクセスポイント)

Wi-Fiの電波を提供する機器。

iPad、決済端末、デモ機、来場者端末、スタッフ用スマートフォンなど、多数の機器を無線でインターネットへ接続できる。有線LANケーブルが不要なため、商談スペース、ステージ、受付など、用途に応じたさまざまなエリアで利用可能。広範囲でインターネット環境を構築できる。SSIDとパスワードは事前指定による設定に対応。SSIDは半角英数字で文字数制限なし、パスワードは半角英数字8~15文字で設定可能。